

令和6年度 当初予算

笑顔あふれる

しあわせのまち二本松

令和3年度からスタートしている総合計画では、4つの基本目標を柱に各種政策を進めています。今月号では、議会に提案した令和6年度当初予算の主な内容をお知らせします。

※二本松市総合計画では、SDGs（持続可能な開発目標）の本市での達成に向けて、各政策とSDGsの関係をまとめています。

4つの基本目標

① 健康で暮らし続けられるまち



② 地域の誇りに満ちた活力あるまち



③ 世代をつないで人を育むまち



④ 安全で快適な暮らしのあるまち



目標1

健康で 暮らし続けられるまち

健康寿命の延伸や健康増進、生きがいづくりの充実を図ること、こころと体の健康を維持し、地域全体で支え合う、誰もが「健康で暮らし続けられるまち」を目指します。

生活習慣病予防事業 継続

各種検診やがん検診を行い、疾病の早期発見・早期治療の推進を図ります。また、令和6年度からは、40・50・60・70歳の方を対象に市民歯科検診（歯周病検診）を開始します。



食でつながる「食で健康プロジェクト」事業 新

高血圧やメタボ予備軍を改善するため「おいしく食べるつて体にいい」をテーマに事業を実施します。

生活困窮者自立相談支援事業 継続

生活困窮者の自立支援を図るため、社会福祉協議会と連携して支援の相談窓口を設置し、就労や家計改善に向けた支援を行います。また、引きこもり者に対する居場所づくり等を行います。

温泉等利用健康増進事業 継続

高齢者の健康増進や閉じこもりの解消を図るため、温泉施設等を利用する費用の一部を助成します。令和6年度からは、はり・きゅう・マッサージを利用メニューに追加します。

障がい者福祉施設等整備事業 新

障がい福祉サービス事業所の施設整備に対して、国や県とともに補助を行います。

高齢者公共交通の運賃無料化事業 継続

75歳以上の高齢者の公共交通（路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、よつたすカー）運賃の無料化を実施します。



凡 例

新	新規事業
継続	継続拡充事業
継	継続事業

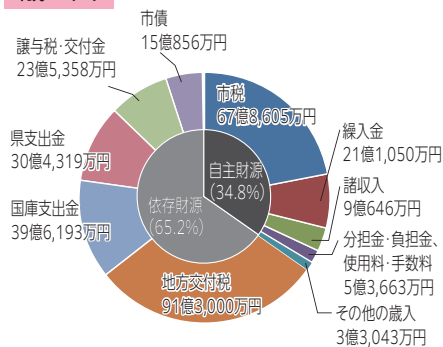


2月27日に議会に提案された令和6年度当初予算
一般会計の予算総額は

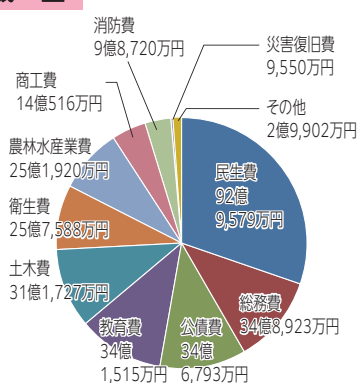
306億6,733万4千円

令和6年度の一般会計当初予算額は、学校の大規模改修の完了などにより減額となった一方で、ため池等の放射性物質対策事業の増等により、前年度対比で14億8,816万5千円(5.1%)の増となりました。内訳は下の円グラフのとおりです。

歳入



歳出



目標2

地域の誇りに満ちた
活力あるまち

観光、農業、商工業の連携を軸に、雇用の創出と地域経済の振興を図ることで「地域の誇りに満ちた活力あるまち」を目指します。

新規就農者支援事業 継

新規の就農に対して資金の交付を行い、新規就農を支援します。

有害鳥獣被害対策事業 継

有害鳥獣の捕獲、被害防止対策を実施します。

商工業融資事業 継 拡

中小企業等の経営安定と発展を図るため、資金融資および信用保証料補助を増額します。



観光立市推進事業 継

イメージアップ宣伝など、観光立市推進を図ります。

霞ヶ城公園整備事業 新

利用しやすい公園とするため、自己循環型トイレを設置します。

あだたら溪谷自然遊歩道整備事業 継

令和4年8月の豪雨により被災したあだたら溪谷自然遊歩道の整備を行います。(2力年計画の1年目)

市民との協働による

地域づくり支援事業 継

地域の特性を生かした市民との協働による地域づくりを推進します。

移住・定住促進事業 継

各地域に定住支援員を配置し、市内への移住・定住を推進します。また、移住者に対し、空き家改修や移住支援の補助を行います。



歴史文化体験事業 継

二本松歴史館で、常設展、企画展および講座を開催し、二本松市の歴史文化振興、情報発信を行います。

目標3

世代をつないで
人を育むまち

子育て支援や教育を充実させ、若者が生涯にわたり居住できる環境を整備することで、妊娠から出産、子育て・教育、就労、結婚、そして、また次の代へと「世代をつないで人を育むまち」を目指します。

こども家庭センターの設置 新



妊娠婦や子育て世帯、こどもの相談支援を一体的に行うため、安達保健福祉センター内に、こども家庭センターを設置します。

人口減少対策事業 継

多世代同居住宅改修や移住者の住宅取得の支援など、人口減少対策に取り組みます。

住んでにほんまつ空き家対策総合支援 新

県外からの移住者や新婚子育て世帯が空き家を改修して二本松に住む場合、その改修費用を補助します。

結婚推進支援事業 継 拡

夫婦ともに39歳以下の新婚世帯の引越し費用に加えて住宅取得費、家賃等についても助成します。





世代をつないで人を育むまち

妊婦健康診査 継

出産までの15回分の妊婦健診および産後2週間、1カ月健診の費用を助成します。

出産・子育て応援事業 継拡

出産子育て応援交付金の支給や産後ケアなどを実施して子育て世帯を支援します。また、産後ケア利用時の交通費の一部を助成します。

保育料助成事業 継

私立の保育所や認定こども園、幼稚園の保育料や副食費を助成します。

延長保育・一時保育促進事業 継

私立認可保育所等が行う延長保育・一時保育事業に対して助成します。

病児保育事業 継拡

病児保育事業を実施する事業者に費用の一部を助成します。

幼児フツ化物歯面塗布事業 継拡

フツ化物歯面塗布を5回に拡充し、自己負担をなくします。

学力向上対策 継

学力向上のため、小学校11人、中学校7人の非常勤講師を配置します。

学習支援事業「土曜学び塾」 新

小学5年生、中学3年生を対象に算数・数学の学習支援を行います。



外国語活動講師派遣事業 継

小学校の外国語活動に外国語講師を派遣します。

教育相談推進事業 継

不登校等の学校不適応児童・生徒への指導援助の充実を図ります。

介助員配置事業 継拡

障がいのある児童・生徒の学校生活を支援するため、小中学校に37人の介助員を配置します。

学校給食と食育の推進 継

物価高騰に伴う子育て世帯の経済的支援として、学校給食費の一部を市が負担します。

学校給食センター改修事業 継

安達学校給食センターの改修を行います。



目標4

安全で

快適な暮らしのあるまち

自然環境保全や防災に対する意識の醸成、都市基盤の形成や仕組みづくりを行うことで「安全で快適な暮らしのあるまち」を目指します。

犯罪被害者等支援事業 新

犯罪被害者等の経済的負担の軽減のため、見舞金を支給します。

地域猫等不妊去勢手術補助 新

地域猫を管理する団体等が行う不妊手術等に補助を行います。



生ごみ処理機等購入補助 新

ごみ減量化のため、生ごみ処理機等の購入に対し補助を行います。

消防団の活性化 継拡

消防車両の運転に必要な運転免許等取得する団員に補助を行います。



二本松駅南地区整備事業 継

二本松駅南広場の整備と、広場から向原・上竹線に通じる道路整備などを進めます。

居住誘導区域内宅地開発推進事業 新

まちなか居住の推進に向け、居住誘導区域内で住宅団地を開発する事業者に補助を行います。

道路橋長寿命化修繕事業 継

道路橋の予防的な修繕、補修を行います。

緊急浚渫推進事業 継

市が管理する準用河川・普通河川の土砂撤去、樹木伐採等を行います。

ため池等放射性物質対策 継

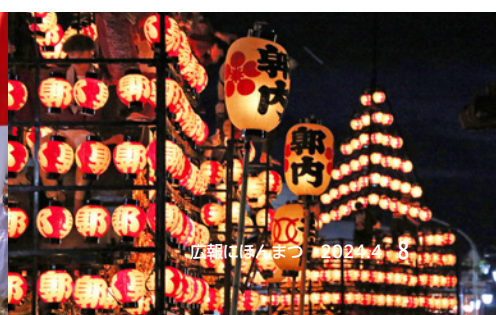
農業用ため池の除染(対策工)を行います。

広葉樹林再生事業 継

きのこ等原木林の再生、安定供給に向け、広葉樹林の再生を図ります。

上水道第7次拡張事業 継

石井・大平、上川崎・下川崎地区の水道未普及地域を対象とした拡張事業を実施します。





その他の主な事業

ふるさと納税の推進 継続

魅力ある返礼品の追加やPRを行い、ふるさと納税の推進を図ります。

脱炭素社会の推進 新

公共施設のLED照明への切り替え、EV車の導入を進めます。

行政のデジタル化、ICT化 新

デジタル技術を活用し、行政手続きや窓口のサービス向上と効率化を図ります。また、保育事務のペーパーレス化、デジタル化を図ります。



合戦場のしだれ桜(東新殿字大林)
※樹勢回復作業中です。

☎129 444 239*55



市議会3月定例会

市議会3月定例会は2月27日に招集され、条例や令和6年度当初予算、令和5年度補正予算などが提案されました。

主な議案についてお知らせします。

※議会に提案された令和6年度当初予算の詳細は6ページをご覧ください。



条例等

地域子育て支援センター条例の一部改正

利用者の減少に伴い、二本松市二本松地域子育て支援センターを廃止するものです。

補正予算

一般会計

2月27日に提案された補正予算については、歳入歳出予算からそれぞれ8億2912万8千円減額し、予算総額を318億9589万9千円とするものです。主な歳出補正内容は次のとおりです。

- ▽旧下川崎小学校・旧下川崎幼稚園解体工事費の減 9332万7千円
- ▽放射能除染経費の減 4億3000万円
- ▽農業用施設単独災害復旧事業費の増 1474万6千円

※今月号に掲載している事業等には、3月定例会に提案している内容を含んでいます。事業の実施は、市議会での審議や議決を経て決定されます。

